

感染症—これだけは知っておきたい予防と対策セミナー—

ノロやインフルエンザに負けない

感染症の予防と対策セミナーが、このほど、在宅サポートセンター生田で開催されました。毎年、この時期になると猛威をふるうノロウイルスやインフルエンザといった感染症について、介護現場でこれだけは知っておきたい傾向と対策を学んでもらうのがねらいです。



講師を担当されたのは、都立病院などで看護職を務め、その後は特別養護老人ホームやグループホームなどの介護現場で約25年間看護師としてケアにかかわってきた小谷洋子さん。現在、きらめき介護塾の講師も務めています。



セミナーでは、座学の前に、ノロウイルスに感染した利用者の嘔吐物を処理する実践講座が行われました。4名の受講者たちが、手袋やエプロンをつけ、嘔吐物の処理にチャレンジ。換気のために窓を開けたり、ハイターの薄め液をつくったりと、本番を想定しながら具体的な対応を確認しました。

この後、感染予防のために、病原体を持ち込まない、病原体を拡げない、病原体を持ち出さないための専門知識や具体的な対策についてスライドを通して学びました。

手洗いや
マスクの効果
手袋やエプロンの
外し方など
日頃の訓練が
大切

嘔吐物の適切な処理法を確認

病原体を持ち込まない・拡げない方法を学ぶ

歩行リハを兼ねて公園で紅葉狩り イチョウ並木にうっとり

デイサービス響では、歩行リハビリを兼ねて、秋晴れのもと近所の公園に紅葉狩りにお出かけしました。訪れたのは、通称まむし公園と呼ばれ、近所の方々に親しまれている三田第三公園。ご利用者たちは、小春日の日差しを浴びながら、鮮やかに色づいたイチョウ並木を眺めながら、30分ほど散策を楽しみました。公園内に落ちている銀杏を拾ったり、時折吹く風に枯葉が舞い散るさまに「きれいだね」とため息。ご利用者たちは、しみじみと季節の移り変わりを感じとっていました。



ひびき通信

平成 29 年
12 月版

グループホーム響で運営推進会議を開催 「肺炎」をテーマに意見を交換しました
ご利用者のご家族や地域の方々に参加されました。この会議は地域や家族との連携と介護への理解を深めることを目的に隔月で開催されています。この日の会議では、ご利用者たちの普段の様子やお出かけイベントの報告が行われたあと、高齢者の肺結核や誤嚥性肺炎などの症状や予防について、意見を交わしました。